

No.	ご意見	要点
1	水景施設など綺麗に保つことが前提なので適切に管理する必要がある	適切な <b>維持管理</b>
2	建物で使用するガラスは省エネに対応したガラスを使用すること	効率的な <b>維持管理</b>
3	調整池を設置するなら、その水を水景施設など複合的に利用してはどうか	各機能の複合的な <b>活用</b>
4	サイクルステーションはサイクリストにとって使いやすいものにしてほしい	導入機能の <b>活用方法</b>
5	子どもが遊ぶ機能としては、知育のような「知」の部分を養える機能があるとよい	導入機能の <b>活用方法</b>
6	これだけの規模になるので働く人の確保が大変だと思う	<b>運営時</b> の人材確保
7	産直の運営方式を決める際には後継者不足や資材高騰のあたりなど、市内生産者の状況もよく考えないといけない	産直の <b>運営方法</b>
8	子どもの作品を展示していると保護者や家族はそれを見に行くので、集客に繋がると思う	<b>運営時</b> の集客
9	パン屋が入るなら、月替わりで店を変えたり、パンストリートで出店しているような店も入れる	<b>運営時</b> の集客
10	レストランは観光客をターゲットとした高価格帯の料理も提供する	<b>運営時</b> の工夫
11	観音寺産のみで料理を提供することは難しいため、他地域の食材も活用し、品数が不足しないようにしなければならない	<b>運営時</b> の提供商品
12	道の駅でちょうさに関するイベントを開催する場合は市全域を巻き込んだものとするべき	イベントの <b>運営方法</b>
13	交通量の多い国道11号線と県道21号線沿いであることをもっとPRするべき	<b>周辺施設</b> の状況
14	スケートボード場など連携する一宮公園の再整備も検討すべき	<b>周辺施設</b> との連携
15	バーベキュー場の整備や海の家を活用も検討に含めるべき	<b>周辺施設</b> との連携
16	市外や県外・全国から訪れてもらうためには、都会にはない良さを知ってもらうのが良い	<b>観音寺らしさ</b> の取り込み
17	30～50年後も観音寺の良さを発信していく場として、農業・漁業・星の観察などの体験を取り込む	<b>観音寺らしさ</b> の取り込み
18	植え付けや収穫などタイミングごとにリピートしてもらえるような体験を実施する	<b>観音寺らしさ</b> の取り込み
19	海も山もどちらもあって、自然豊かな観音寺を知ってほしい	<b>観音寺らしさ</b> の取り込み
20	観音寺をまるごと体験できる体験型道の駅に	<b>観音寺らしさ</b> の取り込み
21	SNSの拡散力、宣伝力を活かせるような場所やスポットを整備すべき	拡散したくなる <b>特徴</b>
22	ある程度振り切ったテーマを設定することでマスコミに取り上げやすくなり宣伝効果を得られるのではないかと	取り上げたくなる <b>特徴</b>
23	建物そのものがランドマークになるように整備する	<b>特徴</b> のある建物
24	水遊びという観点で言うと、付近に海水浴場や香川用水記念公園もあるので、導入するのであれば差別化が必要	道の駅の <b>特徴</b> 付け
25	その他も含め、新たな道の駅の特徴を出すことと、他の道の駅、施設との差別化をしなければならない	道の駅の <b>特徴</b> 付け
26	自然は既に市内に十分あるので、道の駅の敷地内にはそれほど自然は必要ない	道の駅の <b>特徴</b> 付け
27	既に災害活動拠点になっているまんのう公園の状況をふまえ、災害拠点としての需要があるのか確認が必要	<b>防災拠点</b> としての機能
28	災害時にどのように道の駅の施設を活用するのか明確にするべき	<b>防災拠点</b> としての機能
29	目玉テーマを「暮らす招く育てる日常を土台とした防災減災拠点」としてはどうか	<b>防災拠点</b> としての機能
30	コインシャワーやトイレの一部を移動可能なトレーラーハウス方式とする	<b>防災拠点</b> としての機能
31	財源のこともしっかり考え、収支予測・費用対効果のことも考えないといけない	<b>収支予測</b> と <b>費用対効果</b>
32	産直は客単価が低く収益性も低い	適切な <b>収支予測</b>
33	産直は現状でも観音寺産のみでは商品不足となっている	適切な <b>規模</b> や <b>需要供給予測</b>
34	一気に大きいものを作ってキャパが余るようなことがないようにしなければならない	適正な <b>規模</b>